



新リーダー誕生!!

後期児童会選挙が行われました

9月8日(火)の5時間目に、本校の未来を担う新しいリーダーを選ぶ「後期児童会役員選挙」が行われました。6年生の児童たちが「もっと楽しい学校にしたい」「みんながもっと仲のいい学校にしたい」という熱い思いを胸に、勇気を出して立候補してくれました。

立候補者と応援のこどもたちは、各学級を回って自分の公約を説明したり、掲示板に手作りのポスターを掲示したりと、一生懸命に選挙活動していました。

選挙当日の立会演説会では、どの候補者も練習の成果を発揮し、自分たちの公約を全校に発信することができました。聞いている児童たちも、誰に自分たちの学校を託すか、真剣な表情で最後まで耳を傾けていました。その後の投票では、一人ひとりが「大切な一票」の重みを感じながら、次期会長を選んでいました。

この経験は、こどもたちが民主主義の仕組みを学ぶ貴重な第一歩となったことと思います。

選挙の結果、新しい児童会執行部が決定いたしました。おめでとうございます。これからの活躍を心から期待しています。

これから、新しい児童会役員を中心に、全校児童が力を合わせ、『全員参加☆全員成長』のスローガンのもと、「みんなで創る常金丸小学校」をさらに盛り上げていってくれることを楽しみにしています。

【保護者の皆様へ】

ご家庭でも、ぜひ選挙の様子や、お子様が感じたことなどを話題にしてみてください。「誰に投票したの?」「どんな演説が心に残った?」といった会話を通して、お子さんの成長を感じられることと思います。立候補者を支え、温かく見守ってくださったご家庭にも、心より感謝申し上げます。



心をひとつに、声を合わせる!!

全校群読の練習が始まりました

来月に控えたふるさと音楽祭で、今年度は、全校児童で「群読」に挑戦します。題材は、北原白秋の「お祭り」です。

9月9日(水)のおはようタイムに、第1回目の練習を行いました。体育館に集まった全校児童、1年生から6年生までがずらりと並んだ様子は、気迫に満ちていました。初めは少し緊張した面持ちで、周りの様子をうかがっていたこどもたちでしたが、服部先生の合図で詩の言葉を口に始めると、空気が一変しました。

低学年のかわいらしい声、中学年の澄んだ声、そして高学年の張りのある声。それぞれの声が重なり合い、体育館中に響き渡っていました。

群読は、ひとりひとりが自分の役割を果たすと同時に、仲間と息を合わせる「協調性」が求められる活動です。また、詩に込められた言葉の美しさやリズム、その意味を深く味わう絶好の機会でもあります。全校児童が心をひとつにするこの経験は、こどもたちの心に確かな一体感と達成感を育んでくれることでしょう。

本番まで、こどもたちはさらに練習を重ねていきます。日に日に息が合い、表現が豊かになっていくと思います。ふるさと音楽祭当日には、きっと皆様の心に響く、素晴らしい群読をお届けできるはずです。楽しみにしててくださいね。

【保護者の皆様へ】

お子様は、どんな詩を練習しているでしょうか。ご家庭で「今日の練習どうだった?」「どんなところが難しい?」など、ぜひ声をかけてみてください。皆様の励ましが、こどもたちの大きな力になります。どうぞ本番を楽しみにお待ちください。



高学年としてみんなを引っ張りたい!!



教室での練習の成果を発揮したい!!



心をひとつにして頑張りたい!!